

## 平成28年度菅平小中学校のめざす小中一貫教育

### 1 教育課程特例校(文部科学省指定)の申請

学校または当該学校が設置されている地域の実態に照らし、より効果的な教育を実施するため、当該学校または、当該地域の特色を生かした特別の教育課程を編制して教育を実施する必要等が認められる場合に、教育課程特例校として指定し、学習指導要領等の教育課程の基準によらない特別の教育課程の編制・実施を可能とする。

○文部科学省からの承認 平成21年2月23日 申請者 上田市教育委員会

### 2 「小中一貫した学習指導」の実施による、「育成しようとする子ども像」

学校教育目標 郷土を拓く大地の教育

- ①菅平の歴史、文化、自然を未来につなげる子ども
- ②菅平に暮らすことに誇りと喜びを感じる子ども

### 3 取組の具体

#### (1) 学力向上を目指した小学校教師、中学校教師の相互乗り入れによる授業の充実

##### ① 教員の専門性を生かした、中学校教師による小学校教科担任

小学生が中学校に入学し、苦手意識を持ちやすい数学(算数)について、5・6年生から中学校数学教師が担当する。専門性を生かし、「分かる授業」「楽しい授業」をめざし、苦手意識を払拭すると共に基礎的学力の定着を図る。また、算数と同じように、国語・社会・理科・音楽・図工・体育・外国語活動においても、中学校教諭の専門性を生かした指導ができるように、教育課程や時間割等の工夫をして取り組んでいる。

##### ② 小中乗り入れによる非免許授業担当の解消

小規模校では、非免許による授業担当をすることがあるが、本校では、小中の乗り入れにより、非免許による授業担当をしなくてすんでいる。(技家は小学校教員が教科担任)

##### ③ T T指導による基礎力定着及び伸びる力を一層伸ばす指導

主に中学校教員を中心に国語、算数・数学、英語・外国語活動等でT T指導または個別指導を行い、基礎力の定着や伸びる力を一層伸ばす指導に当たる。

#### (2) 複数で児童生徒を見守る生徒指導

多くの教員が多角的・多面的に児童・生徒に関わることで、児童・生徒個々の良さを引き出し、中学1年生が環境の変化によって不登校や学校不適応をおこし易いとされるいわゆる「中1ギャップ」への対策になったりすることが期待できる。

#### (3) 「スキー科」「英会話科(中学校)・外国語活動(小学校)」「すがだいらの時間」の設置

菅平の歴史や文化、産業、自然等を知ったり体験したりして、菅平の良さを継承し、次代の農業先進地及び国際的な観光地を創造するとともに、国際社会に生きるために必要な資質の基礎や、厳しい寒さにも負けない強い心をもつ人材を育てる。

ア スキー科…体育科と合わせてスキー活動の実践

イ 英会話科・外国語活動…小学校1～4年生でも外国語活動を実施、中学校の実践的英会話の充実

ウ すいだいらの時間…総合的な学習の時間の中で、ふるさとの自然・産業・歴史・文化に関する学びを積み重ねる。

#### (4) キャリア教育の充実

小中9年間をキャリア教育的な視点でとらえ、「地域との交流を通して、この地に生きることの喜びを実感する」を目的とした教育活動・職業体験活動を実施する。